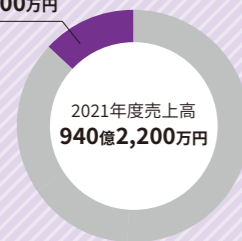


セグメントの概況

エンジニアリング
事業

Engineering

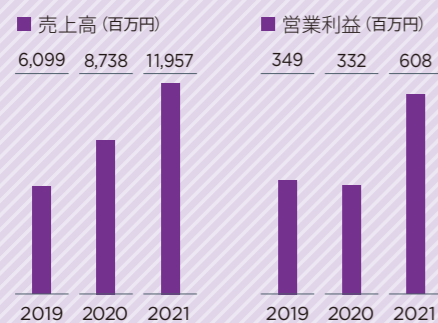
売上高構成比

売上高構成比12.7%
119億5,700万円

業績ハイライト

鉄道事業者向け機械設備のほか、家庭紙メーカー向け製造設備、各地のJA向け営農プラントなどの売上があり、鉄道事業者向け機械設備や家庭紙メーカー向け製造設備が2020年度に比して増加したことなどにより、エンジニアリング事業の売上高は119億5,700万円となり、2020年度に比べ36.8%増加となりました。

過去3か年の売上高・営業利益



事業内容 [主要製品]

エンジニアリング事業は、エンジニアリング、営農施設、産業機械の3つで構成されており、それぞれ販売先の業界は異なりますが、各種機械設備のエンジニアリングを行っている点で共通しています。社内で開発・設計したものを協力会社（アウトソース）により製造し、それを工事施工して納入後のメンテナンスまで含めトータルで対応しております。機械単体ではなく、ライン設備全体の最適なレイアウト、設備管理システムなどの提案も行うなど、個々のお客様のニーズに即した製品やサービスを提供できることが強みです。

エンジニアリングでは、主に鉄道事業者向けの鉄道車両用検修設備およびJR東海向けのリニア用機械設備を取り扱っております。



車体搬送トラバサ

営農施設では、農業協同組合向けを中心に穀物乾燥調製貯蔵施設など営農プラント向け設備の新設・更新を行っております。



カントリーエレベーター

産業機械では、製紙業界向けに製紙関連の製造設備やリサイクル業界向けに破砕機などを販売しております。



破砕機

営農施設、産業機械とも約50年にわたり事業を展開しており、お客様との強固な信頼関係を構築してきました。なかでも種村から優良種子をつくる種子センターおよびトイレトーパー等の家庭紙加工設備は全国トップシェアを誇っています。



エンジニアリング事業で取り扱う、鉄道事業者向け機械設備、穀物乾燥調製貯蔵施設および製紙機械は社会基盤として不可欠な設備であり、今後も一定の需要が継続すると見込まれます。これらの設備には安全性向上、省力化に加え、高齢化や労働力不足を補う省人化や保守性の向上が求められていることから、お客様のニーズにきめ細かく対応する提案を進めることにより、収益拡大に努めてまいります。

執行役員 エンジニアリング本部長 五十嵐 基仁

鉄道事業者のニーズに沿った車両検修設備を提案：JR東海浜松工場リニューアル工事

東海道新幹線の全般検査および修繕を担うJR東海の浜松工場のリニューアル工事において、これまで多くの鉄道事業者に対して各種検修設備を提供してきた実績を生かして、検修ライン提案を行い、設備を納入しました。また、一括施工によるトータルコストの削減や、類似設備の仕様統一によるメンテナンスコストの削減を実現しました。特に先頭車研ぎ装置は新幹線の先頭形状をロボットにより研磨する業界初の設備であり、省力化と作業安全性に大きく寄与しました。この実績を生かし、その他の鉄道事業者の検修工場のリニューアルに向け、新たな受注を獲得すべく営業・提案活動に取り組んでいます。



リニア機械設備

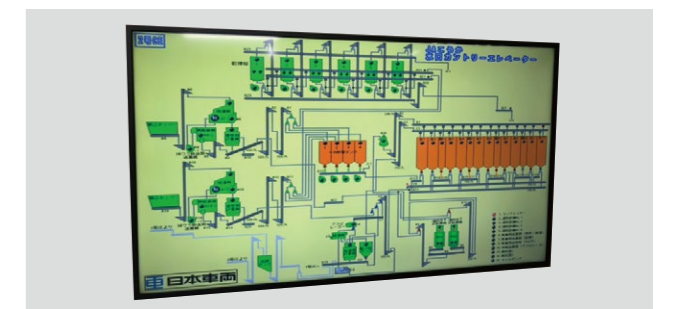
当社は、リニア中央新幹線向け機械設備の技術開発や、山梨実験線への設備納入及び保守などを行なっております。今後も、エンジニアリング事業の柱の一つとして位置付け、積極的に取り組んでまいります。



提供：JR東海

米麦の乾燥調製貯蔵施設の自動化

営農施設では、米、麦、大豆の乾燥調製貯蔵施設、通称「カントリーエレベーター」を主体として、全国で事業展開をしています。米の生産コスト低減のため、各施設では運営コストの低減が求められており、お客様のニーズに対応した能力向上・省力化設備の開発にも注力しています。営農施設事業においては、多くの納入実績と長年のアフターサービスにより培われた提案力および信頼関係が何よりの強みとなっております。



コロナ禍で家庭紙の需要が増加

製紙会社向けに、古紙を再生する設備、ティッシュペーパーやトイレトーパー、タオルペーパーなどの家庭紙を加工、梱包する設備を納入しております。コロナ禍で家庭紙の需要が増加したことを受け、大手製紙会社の設備投資が旺盛となり、トイレトーパー、ティッシュペーパーなどの家庭紙を製造する設備の新設・更新が進んでいます。

